

みさと 福祉だより

第36号

平成24年
12月14日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 ☎0187-85-2291
印刷・株式会社アイ・クリエイト

モデル地区の会館を被災地の避難所に見立て、避難所生活をしているという想定で、体調や困っていることなどを聞き取ります



災害時見守りネットワーク 実践研修会を開催しました



講師の李仁鉄氏（右）と
大船渡市社協の伊藤勉氏（左）

実際に炊き出しも行い、
豚汁を作りました



11月19日（月）みさと福祉センターで災害時見守りネットワーク実践研修会を開催し、民生児童委員や社協サポーター、町や社協職員など63名が参加しました。

この研修会は、災害時の被災者支援を円滑に行うため、災害ボランティアセンター運営の中核となるスタッフの人材を育成することを目的としています。

講師には、6月に開催した災害ボランティア活動実践研修会に引き続き、いがた災害ボランティアネットワークの事務局長である李仁鉄氏（りじんてつ）を迎え、また実践活動報告として東日本大震災による被災地で実際に災害ボランティアセンターの指揮をとっている大船渡市社協の伊藤勉氏を迎えました。

この研修会では、モデル地区5箇所を被災地と見立て、災害ボランティアセンターを疑似的に設置し、実際の運営を通じて浮き彫りになる問題点や課題、改善策等について話し合われました。

※この広報は、赤い羽根共同募金の配分金と社協会費が使われています。

美郷町社協役員改選

—会長に佐藤成輝氏が再任—

今回、任期満了にともなう美郷町社会福祉協議会の理事・監事の改選が行われ、11月20日の評議員会で新役員を選任しました。12月3日には新役員による理事会を開催し、会長に佐藤成輝氏、副会長に黒丸剛氏と加島徹氏がそれぞれ再選任されました。

これからもなお一層『誰もが安心して暮らせる地域づくり』を目指して福祉活動を進めてまいります。

新役員の紹介

※敬称略・順不同

任期 平成24年12月1日～平成26年11月30日



副会長
黒丸 剛
(上町)



会長
佐藤 成輝
(上千間谷地)



理事
進藤 敏美
(本堂西部)



副会長
加島 徹
(塚)



理事
田澤 千寿子
(中野)



理事
藤嶋 政春
(第一眺)



理事
蛭川 久二雄
(下鍵田)



理事
澁谷 久一
(上蔭沢)



理事
鈴木 諄一
(天神堂)



理事
前田 忠秋
(福祉保健課長)



理事
二藤 由喜子
(大町)



理事
佐藤 義勝
(福祉施設)



理事
照井 富士男
(元村)



理事
大久保 一男
(本館)



理事
塙 常観
(東高方町)

監事



監事
鈴木 豊文
(第一眺)



監事
小西 弘蔵
(米町)



監事
五十嵐 博
(上深井)

長い間、お疲れ様でした

～退任された理事の方～

今回の役員改選により、山下昭夫氏と高橋優氏が理事を退任されました。

山下氏は昭和54年に旧六郷町社協の理事に就任され、高橋氏は平成20年に理事に就任されてから永年にわたり、社協の運営ならびに事業推進にご尽力をいただきました。

心から感謝するとともに、これからもご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



山下 昭夫
(作山)



高橋 優
(千屋中部)

新評議員紹介

※敬称略・順不動

(任期・平成24年10月1日～平成26年9月30日)

- | | |
|--------------|------------|
| 柿崎 ルリ子(施設) | 加藤 勇孝(新町) |
| 高橋 郷(本道町) | 鈴木 タキ子(大坂) |
| 照井 成一(後三年) | 加藤 香代子(石神) |
| 出雲 房子(中島・藤原) | 中村 裕子(御前) |
| 伊藤 由美子(施設) | 梅川 知子(赤城) |
| 千葉 一夫(百目木) | 木下 信隆(石神) |
| 小野寺悦子(万願寺) | 藤田 永孝(施設) |
| 高橋 テイ(本道町) | 泉 繁夫(議会) |
| 高橋 成人(千屋北部) | 熊谷 勇(土崎北部) |
| 熊谷 弘子(米町) | 照井 恒夫(駅前) |
| 高橋美由紀(上千間谷地) | 鈴木 正洋(宝門町) |
| 月輪 元(施設) | 橋 正幸(外川原) |
| 高橋 愛(押切・紀の国) | 小西 ヨシ(荒町) |
| 辻 奈美子(荒町) | 高橋 汎(塚) |
| 福島 要子(小荒川) | 高橋 博樹(上町) |
| 藤澤 晟孝(橋本) | 高橋 町子(大畑) |

長い間お疲れ様でした

～退任された評議員の方～

任期満了にともなう美郷町社会福祉協議会評議員の改選により、熊谷昭造氏(土崎北部)が退任されました。これまで本会の運営にご尽力をいただき、心から感謝するとともに、これからもご指導ご協力をお願いします。



町民の皆さまから続々と供出品が寄せられました



前日の仕分け作業では品物をよく見定めて適切な値段を決めます



ドン菓子の実演販売もバザーを盛り上げてくれました



当日、会場はたくさんの来場者でにぎわいました

★歳末チャリティーバザー★ 51万1千円の売り上げ

12月2日(日)みさと福祉センターで毎年恒例の歳末チャリティーバザーが行われました。

当日はボランティアによるドン菓子実演販売やサンワーク六郷による手作り品の販売などもあり、大勢の来場者でにぎわいました。

この日のバザーの売り上げは51万1千円で、この売上金は、歳末たすけあい募金の収益金として要援護世帯の方々へお届けするものです。

地域の支援を必要としている人たちが明るい新年を迎えられるよう、これからも一層のご協力をお願いします。

なお、前日の仕分け作業や当日の販売には日赤奉仕団、民生児童委員、各種ボランティア団体からご協力をいただきました。

バザー品を提供してくださった方々、取りまじめにご協力をいただいた福祉委員、そして多数のご来場ありがとうございました。

地域福祉座談会

347名の参加

話し合われた内容

10月29日～11月9日にわたり、町内39か所の集落会館等で地域福祉座談会を開催し、のべ参加者数は347名でした。

社協の役職員が地域の会館等へ出向き、社会福祉協議会が行っている事業の説明やその地域で抱えている問題、社協に対する意見や要望等を話し合いました。また、今回は東日本大震災のような大きな災害に対する意識を高めてもらおうと、災害に関するDVDを上映したり、非常食の試食を行いました。



野際児童館にはたくさんの参加者が集いました。



非常食の試食も好評でした。(大坂生活改善センターにて)

★災害・非常食について

地区で防災用品をそろえたいと思っていたので、非常食の試食は参考になった。非常食の賞味期限はどれくらいか。↓およそ5年間の保存が可能。

・自主防災組織補助金でブルーシートや土のう等を購入した。

・震災での停電を経験し、緊急時だけでなく普段の近所付き合いが大切だと思った。

★座談会について

・今回のような体験型の座談会はとても良い。
・座談会開催チラシに具体的な内容を記載してもらいたい。

・上映されたDVDを町内の会合等で活用したい。

↓必要であればDVDは無料で進呈できる。

★配食サービスについて

・利用したいと思っているが、どのような人が利用できるのか。↓65歳以上の単身または高齢者世帯を対象としている。

・現在の利用者数はどれくらいいるのか。

↓全町で約140名。

★除排雪について

・地域でも単身宅を回るつもりであるが、社協としての関わり方などを教えてほしい。↓今年度の事業で軽トラック・除雪機の準備をしているので、必要に応じて地域に貸し出すこともできる。

・高齢者や単身宅の除雪について社協はどのような対応をしているのか。↓社協で行う一斉除排雪事業はあくまでも一時的なもので、日常的

な除雪はシルバー人材センターが請け負っている。

★共同募金について

・集まった募金がどのように使われているのか分からない。↓町内学校への補助や社協の事業運営に有効活用されている。詳しい使い道については10月に発行した福祉だよりに掲載しているのでご覧いただきたい。

★歳末チャリティーバザーについて

・バザーの供出品としてどんな物を出せばいいのか分からない。↓箱入りの贈答品(シーツやタオル、賞味期限内の缶詰や調味料等も可)や洗剤、食器類など、使用価値のあるものであれば特に制限はないが、古着や売り物にならないような品物はご遠慮願いたい。

★社協会費について

・町内会費等から捻出している地区もあるが、統合になった地区ではその金額を出せない場合があるので金額を下げてもらいたい。

↓一世帯あたり千円という会費の額は強制ではないが、一律に金額を下げてしまうと、目標を定めて

運営している社協事業に影響が出てくるのが考えられる。例えば、これまで受けていたサービスが受けられなくなると困る人なども出てくる可能性がある。

で、千円という額によって社協の事業が支えられていることをご理解いただきたい。

★介護保険・老人施設について

・家族が過去に介護保険サービスを利用したことがあり、その時は本当に助かった。

・施設できちんと栄養管理されているためか、元氣になった人がたくさん見受けられる。

ここに掲載した町民の皆様のご意見ご要望はごく一部ですが、地域のさまざまな声を直接聞くことができ有意義な座談会でした。

社協に対してのご要望には可能な範囲で応え、また参考にしながら「誰もが安心して暮らせる地域(まちづくり)」に向けて事業を進めてまいります。

六郷小学校で防災教室 ～子どもたちにも 防災意識を～

12月11日(火)六郷小学校で防災教室が開かれました。この教室は、阪神淡路大震災や東日本大震災のような大きな災害がどのようなものか知ってもらい、子どもたちにも災害は怖いものであることを認識してもらおうとともに、自分たちで何ができるか考える力を養う目的で開催されました。

講師として、NPO 法人「さくらネット」の河田さんと金田さんにお越しいただき、クイズをしたり、防災グッズをみんなで作ったりするなど、子どもたちが防災について興味を持って学べるように教えていただきました。



クイズでは、このような防災についての問題が出され、子どもたちに考えてもらいます



「津波の速さはジェット機と同じくらいです！」と答えが発表されると子どもたちからは歓喜の声！

この教室には父兄も参加され、新聞紙で作る簡易スリッパやコップ、キッチンペーパーで作る簡易マスクなどの防災グッズを子どもたちと一緒に作りました。



講師の金田さん(左)と河田さん(右)はこの日のために兵庫県からお越しいただきました



六郷小学校の体育館には300人近い児童が集まりました

自然災害は東日本大震災のような地震や津波だけでなく、台風などによる暴風や大雨による洪水・土砂崩れ、大雪による雪害など様々あり、いつどこで起きてもおかしくないものです。

災害時には家族と一緒にいるとは限らず、電話もつながらない場合も考えられます。そのような時に備え、子どもたち自身も『防災』について考え、学ぶことは非常に大切なことです。

なお、12月18日(火)には金沢小学校でも同様の防災教室を開く予定です。



「これから新聞紙でスリッパを作ります！」と講師の金田さん



完成した新聞紙スリッパ

6,909,417円も集まりました!

(募金内訳)

・戸別募金	5,591件	5,504,866円
・法人募金	121件	935,000円
・学校募金	7件	180,087円
・職域募金	18件	214,856円
・個人募金	4件	32,599円
・募金箱等	3件	42,009円



※ 11月末現在

赤い羽根募金実績

〜善意よまもじんをありがとうがじいじいしました〜

10月から全国一斉に展開している赤い羽根共同募金運動は町民の皆様のおかげでたいご支援とご協力により、上記のとおりたくさんの善意が寄せられました。厚く御礼申し上げます。

これらの善意は、来年度の民間社会福祉施設や美郷社協の事業を進めていくための貴重な財源として有効に活用させていただきます。

また、町内の学校からは赤い羽根募金以外にも、プルタブやもち米などのあたたかい善意をたくさんいただきました。ご協力ありがとうございました。ご協力ありがとうございました。



学校募金



▲千屋小学校より 地域のために活用します



▲六郷小学校より みなさんの善意を大切にします



▲千畑南小学校からは募金の他にもち米もいただきました。町内の一人暮らし高齢者などへの配食サービスの食材として使わせていただきます。(このもち米は学校田「夢小町」で収穫され、春の田植えから秋の収穫まで児童たちが手作業で心を込めて育ててくれたものです。)

学校の児童・生徒たちからの募金(学校募金)は、ご家族の協力はもちろん、自分たちのお小遣いの中から少しずつ出してくれたものです。子どもたち一人一人の善意を大切に、地域福祉の向上のため活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

募金をいただいた法人様

※敬称略・五十音順

(株) 秋田県南重機
秋田昭和産業(株)
(有) アクアタウンホテル
(有) 旭メディカルサービス
(資) 天川谷精肉店
(有) 伊藤建築
衣料の店てるい
(有) 上田薬局
(有) エム・ジェー
(有) 大久保機械店
(資) 岡田書店
(有) 奥山工務店
(株) 小田島工務店
(株) 小貫建設
小原久次郎商店
(有) 加藤電気工事
(有) 花宝堂六郷葬儀社
医療法人 亀谷外科医院
(株) 雁の里せんなん
(有) 企業さきがけ
(有) 企業みらい
木村建設(株)
(株) KYO
(有) 草薙電子製作所
(有) 熊谷工業
くらしの衣料モエドー
(名) 栗林酒造店
(資) 黒銀タクシー
(有) 黒丸
源八亭
小西(名)
(有) 小西石油
(有) 齋景産業
(株) さいとう建設
(株) 斉藤光学製作所
(有) 坂本水道工業
(有) 佐藤建材
(株) 沢野建設
(有) 沢野自動車
(資) 三和商事
(株) シーモワオカデザイン

JA 秋田おぼこ仙南支店
JA 秋田おぼこ千畑支店
JA 秋田おぼこ六郷支店
シブヤ建設工業(株)
(有) シマツ
(資) 清水屋商店
高柳山真乗寺
(資) 進藤電器製作所
しんどう内科クリニック
(株) 鈴木材木店
(有) 清水堂薬局
(資) 仙南自動車整備
雁の里仙南診療所
(株) 千畑衛生社
全人会 千畑クリニック
(有) 千畑資材センター
(資) 高順冷蔵庫
(有) 高照電設防災工業
(有) 高詮建設
(有) 鷹鷲建築
(有) 高橋建築
たかはし歯科医院
(株) 高橋酒造店
(有) 高橋造園土木
高山歯科医院
田口塗装工業(株)
(有) 田澤商事
(有) 田丸
(有) 忠栄堂印刷所
鶴谷産業(株)
(有) 寺山新聞店
照井商店
(資) 照井福治商店
照井味噌醤油醸造元
(株) 戸沢板金工業
(有) 中野建装
日仙電機(株)
(有) 新田商店
(有) ハーベスト
はりま建設(株)
樋口繊維工業(株) 秋田第一工場

ビルトマテリアル(株)
ファミリーマート美郷千畑店
(資) 深澤商店
(株) 福田建設
(資) フジヤアクアテック
(有) ヘアサロン KONISHI
(有) 細井技研工業
(株) マカベ秋田工場
(有) まひる薬局
(株) マルコ産業
(株) 丸三設備美郷支店
美郷温泉振興(株)
ミサトフーズ(有)
(株) 宮崎製靴
(株) 三輪農機
明光義塾美郷六郷教室
(有) モモタロー美容室
八千代酒造(名)
(株) ヤマダフーズ
山丁
大和建设(株)
ユーアポロ仙南 SS(有) 木村商店
UDトラックスジャパン(株)
(株) ユウメディカル
(有) 吉野屋商店
(有) ルック商事
(株) レジーナ秋田支店
ロード電子工業(株)
六郷運送
六郷開発(株)
六郷金融懇談会
六郷小型貨物自動車運送(株)
(有) 六郷さいた薬局
(有) 六郷仙南清掃
六郷仏教会
(有) 六郷プランニング
六郷まちづくり(株)
(株) 六水六郷地方卸売市場
(有) ワイエムジー工業

募金をいただいた職場と学校

※敬称略・五十音順

秋田昭和産業(株)
JA 秋田おぼこ仙南拠点支店
JA 秋田おぼこ千畑支店
JA 秋田おぼこ六郷支店
秋田県総合保健事業団
亀谷外科医院
杏授苑
後三年鴻声の里
(株) コマチ

慈泉会(サンワーク六郷)
真昼荘
美郷町役場(各課)
(株) KYO 湧水の郷
(株) レジーナ秋田支店
ルートピア仙南
ルートピア緑泉
六郷高等学校竹泉会
美郷町社会福祉協議会

金沢小学校
仙南東小学校
千畑南小学校
千屋小学校
美郷中学校
六郷高等学校
六郷小学校

121 法人様から法人募金、18 か所の職場から職域募金、7 校の学校から学校募金としてたくさんのご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。





11月2日のスポーツレクリエーション大会の様子

美郷老連だより 10

秋の活動報告

今号は10月、11月の老人クラブ活動について報告します。10月26日は県老連五十周年記念老人クラブ大会が秋田県民会館で開催されました。この席上で県老連会長表彰があり、老人クラブ育成成功労者として米沢利一会長、老人クラブ育成従事者として高橋汎事務局長、優良老人クラブとしてよつば会、天神堂長寿会、会員増強運動優良クラブとして塚老人クラブ、古町白山クラブ、本道町清松会、八幡クラブ、関田丸子会、第一中央寿会、和進会、上鍮田長寿会、元南真昼会老人クラブ、石神こぶき会がそれぞれ表彰されました。

11月2日には会員の健康増進と親睦を図ることを目的に、千畑支部で第17回のスポーツレクリエーション大会が行われました。この日はあいにく暴風雨に見舞われましたが、約140名の参加がありました。種目は昨年と同じく、昨年参加した会員は自信を持って参加していました。種目は7種目で、特に難しかった種目は、皿に大豆を入れて、その豆粒を別の皿に移すというもので、女性に比べ男性はかなり手間取っていました。大会最後のクイズ王決定戦は特に盛り上がりです。出題される問題の内容は、美郷町に関することなどで、最後まで正解を続け勝ち残った一人がクイズ王となりました。今回の大会で参加された最年長選手は千屋北部の山形竹治さん(90歳)で、特別賞を受賞されました。

11月8日には県老人クラブ文化祭が秋田市文化会館で開催されました。これには仙南コーラス部による「三つの汽車のうた」や、千畑支部の「一円玉の旅」が、千畑山などが披露され、好評を得ました。

美郷町老人クラブ連合会
副会長 佐藤昭司

認知症 SOS おたすけネットワークシステム協力機関

認知症の方が徘徊により行方が分からなくなった場合、行方不明者の目撃情報の提供を協力機関や個人協力員へ呼びかけ、早期発見できるようにするものです。詳しくは前号表紙をご覧ください。新たに以下の企業・団体様もご登録をいただきました。 ※敬称略

地区	協力機関名称	地区	協力機関名称
千畑地区	(有) さくらヘルパーセンター	仙南地区	伊藤龍商店
	特定非営利法人 宝寿会		衣料の店 てるい
	細井理容所		澁谷理容所
	加島商店		美郷観光タクシー (有)
六郷地区	高良酒屋	美郷町	(有) 六郷仙南清掃
	くらしの衣料モエドー	美郷町内寺院	
	お菓子のくろまる	(株) サイテクト	
	アイユくろまる	(株) 高久	
	ゆうちゃんの郷	大仙市	(株) よつば

グループホーム
やすらぎの家

設置施設
AED

認知症なんでも相談所

介護付有料老人ホーム
ライフケア **そよかせ**

TEL.0187-84-1750

美郷町畑屋字狐塚213-1

(有)若竹 TEL.0187-84-2887

介護 (認知症等) による
にお困りの方、お気軽に
ご連絡ください。

**みさと福祉だよりへ
広告を掲載してみませんか?**

発行回数：年6回(偶数月) 毎号6,800部
掲載料金：1コマ(50mm×85mm) 7,000円

※詳細は美郷町社会福祉協議会 広報担当まで
お問い合わせください。

TEL 0187(85)2294



六郷高校福祉科通信

厳しかった残暑もようやく去り、師走の風が身にしみるようになりました。いよいよ本格的な冬の到来です。

学校は期末試験が終わり、冬休みを迎えようとしています。福祉科三年生は一月末に行われる「介護福祉士国家試験」に向かって冬休み返上で、毎日勉強です。

学校の様子 十月～十一月

◇十月十日（水）から福祉科二年生は、施設実習が始まりました。同行訪問・デイサービスも実習の中に組み込まれています。同行訪問では、調理に四苦八苦している人がほとんどです。食べるだけでなく、お家でのお手伝いを普段からしっかりとやらなければと実感しました。

◇十月十八日（木）中学生を迎え体験入学が行われました。福祉科での体験学習を希望した生徒は二十二名で、「ベッドメーカーキング」「着脱の介助」を行いました。進行や実習指導を担当したのは福祉科の三年生です。グループに分かれて体験してもらいました。緊張の中にも真剣さが伝わってきました。六郷高校の福祉科に興味を持っていただけたでしょうか。かわいい後輩を心待ちにしています。



◇十月二十七日（土）二十八日（日）「天仙市秋の祭りフェア」へ参加しました。六郷高校は福祉科の紹介を兼ねた展示をしました。今年は、初めての試みとして「チビ子フェスティバル」で好評のコースター作りを行ってみました。ここでも大盛況で、子どもたちが列を作っただけで並んでいました。出来上がった作品をうれしそうに眺める笑顔に私たちも忙しさを忘れるほどでした。



◇十一月一日（水）

美郷町更生保護女性の会の方が本校を訪れました。昨年は介護体験を行いました。今年度は郷土料理「はなみそ」と「おやき」の作り方を教えていただきました。

おやきの皮を包む時は手についてしまい、なかなかまとめることが出来ずに難儀しましたが、くるりとまとめる様子に思わず手をたたきました。



「おばあちゃんの味」とても美味しかったです。

◇十月三十一日（日）は「後三年鴻生の里」で、十一月三日（土）は「角間川更生園」と「すこやか大雄（大和更生園・ユーポップハウス）三施設合同ふれあい祭」で、秋祭りのお手伝いのボランティアを行いました。例年一年生中心の活動でしたが、今年度は三年生も参加し、一緒に頑張りました。

◇十一月十六日（金）

「教育振興会研究協議会」が開かれました。福祉科三年生は、「生活支援技術」の利用者の状況に応じた事例学習を行いました。一年生は「社会福祉基礎」の中で障害者の地域生活支援について考える授業を行いました。地域の方々が沢山見えになり緊張しましたが、これまで学んできたことを披露するよい機会となりました。三年生の高橋未来さんと田村麻里子さんが施設実習報告と福祉科のクラス紹介を行いました。

「今までこんなに沢山勉強したことがない」といいながら、三年生は遅くまで国家試験の問題に取り組みんでいます。教室で飛び交う会話も福祉に関係する内容です。



先輩から後輩へ

十月から福祉科十期生となる一年生が本格的に「福祉科目」を学び始めました。新しいカリキュラムになり、介護実習の時間も増えました。挨拶や部屋への入り方など、生活の基本も勉強の一つです。ノートも毎日提出で大変ですが、先生は隔々まで細かくチェックして返してくれます。

三年生はもうすぐ社会へ出ますが、この積み重の大切さを実感しています。「介護福祉士」として働く自分を目標に頑張ってくださいね。



福祉科と生活文化コースで「家庭看護・福祉」を学ぶ2、3年生が「クリスマスカード」を作りました。一枚ずつ作りです。



よいお年をお迎えください。

除雪機と軽ダンプトラックを無償で貸出します

地域コミュニティ復興支援事業（秋田県からの補助金を受けて実施）で貸出用の除雪機と軽ダンプトラックを購入しました。

これらは高齢または身体的な理由により自力で除雪することが困難な世帯の除雪支援活動を行う方に貸し出すものです。（要予約）



貸出用の除雪機と軽ダンプトラック

【貸出条件】

- ・燃料を満タンにして返却
 - ・使用者の過失による破損や故障が発生した場合、修理費は使用者が負担
 - ・目的以外の使用や第三者へのまた貸しの禁止
 - ・予約制のため、希望の日時に添えない場合有
- 詳しくはお気軽にお問い合わせください。

電話 85-2294

奉友会 秋の奉仕活動

福祉センター周辺を清掃

11月14日、奉友会会員が福祉センター周辺の清掃をしてくださいました。春のゴミゼロ運動に引き続き、今回も敷地内を大変きれいにしてください、ありがとうございます。
奉友会は、福祉センター以外にも役場や公園、道路、ラベンダー園などの清掃を行い、地域の美しい環境づくりのために精力的に活動しています。



小雨がばらつく中、落ち葉を拾い集める会員

一斉除排雪ボランティア募集！

美郷町社協では、毎年1月と2月に町内の単身老人世帯や高齢者世帯など、自力での除雪作業が困難な世帯を対象に一斉除排雪事業を実施しています。

昨年は学校の生徒さんや老人クラブ、消防団、民生児童委員、建設業協会、施設職員、役場職員、地元企業、一般ボランティアなど、988名もの方々からご協力をいただきました。

今年もご協力をいただける企業や団体、および一般ボランティアを随時募集しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

電話85-2294



善意

(平成24年10月1日)

11月30日受付分

※受付順

■物品寄付

- 佐野 キツカワ宅配サービス様
(乳製品・パックジュース)
- 駅前上乙ふれあいサロン
代表 照井アイ様(タオル)
- 千畑南小学校様(もち米)
- 匿名様(紙オムツ)
- 匿名様(年賀状二〇〇枚)
- 仙南東小学校様
(プルタブ・空き缶)

■一般寄付

- コスモスの会様
- 秋田建築労働組合大曲支部
支部長 須田鐵美様
- よねや株式会社様

■香典返し

- 愛知県 高橋 誠様
- 千屋北部 高橋 悦子様
- 荒町 富永 義樹様
- 南町 大坂 清一様
- 佐野 大坂 久様
- 南町 井関 良助様

扇龍会から歳末たすけ
ました。ご寄付いただき

- 川原保 吉野 鉄次様
 - 黒沢 高階 幸男様
 - 第一暁 飛嶋 正三様
- ※このほか、匿名での寄付も
いただいています。

扇龍会年末チャリティショー「十周年記念公演」が12月1日(土)美郷町公民館で行われ、来賓として美郷町長、加藤麻里秋田県会議員、美郷社協会長がご臨席のもと、唄や舞踊など60演目が披露されました。
このチャリティショーの収益金は毎年、歳末たすけあい募金としてご寄付いただいております。町内の要援護世帯の方々が見るに新年を迎えられるようにするために役立てられています。

以上の方々より当協議会に善
意の金品をいただきました。ご
厚意に対し、心からお礼申し上
げます。

編集後記

毎年この時期は車のタイヤを冬用へ交換するわけですが、春のタイヤ交換と違ってこれから本格的な冬になることを実感する分、少々気が重くなります。しかし「冬

来たりなば春遠からじ」とも言うものです。これは、寒い冬のすぐ後には暖かい春が待っているという意。そう言い聞かせて今年も冬を乗り切りたいと思います。
それでは、良いお年をお迎えください。
H・D

みさと福祉センター

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1



社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会

TEL0187(85)2294(代) FAX0187(85)2291
misato-fukushi@ceres.ocn.ne.jp

美郷町介護事業所

TEL0187(87)6128(代) FAX0187(87)6680
misato-kaigo@ceres.ocn.ne.jp